

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年1月8日(2015.1.8)

【公表番号】特表2014-520592(P2014-520592A)

【公表日】平成26年8月25日(2014.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-045

【出願番号】特願2014-518543(P2014-518543)

【国際特許分類】

A 6 1 J 15/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 J 15/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月12日(2014.11.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

挿入補助装置であって、

(a) 遠位端を備えるハンドルと、

(b) 舌圧子であって、

(i) 前記ハンドルの遠位端に隣接する近位端と、

(ii) 遠位端と

を備え、前記近位端から前記遠位端へと徐々に小さくなる断面形状を有する舌圧子と、

(c) 第1通路であって、

(i) 入口と、

(ii) 前記舌圧子の遠位端に隣接する出口と

を備える第1通路と、

(d) 少なくとも1つの付加的な通路であって、

(i) 入口と、

(ii) 前記舌圧子の遠位端に隣接する出口と

を備える少なくとも1つの付加的な通路と、

(e) 前記舌圧子の遠位端に隣接するガイドであって、前記舌圧子の遠位端から延びる1対の突起によって形成された凹部を備えるガイドと

を備える挿入補助装置。

【請求項2】

前記第1通路の入口は前記舌圧子の近位端に隣接して配置される、請求項1に記載の挿入補助装置。

【請求項3】

前記第1通路の入口は前記ハンドルに隣接して配置される、請求項1に記載の挿入補助装置。

【請求項4】

前記第1通路は少なくとも1つの代替的な入口を含む、請求項1に記載の挿入補助装置。

【請求項5】

前記少なくとも1つの付加的な通路の入口は前記舌圧子の近位端に隣接して配置される

、請求項 1 に記載の挿入補助装置。

【請求項 6】

前記少なくとも 1 つの付加的な通路の入口は前記ハンドルに隣接して配置される、請求項 1 に記載の挿入補助装置。

【請求項 7】

前記少なくとも 1 つの付加的な通路は前記挿入補助装置の外面に連結された複数の C クリップによって形成される、請求項 1 に記載の挿入補助装置。

【請求項 8】

前記少なくとも 1 つの付加的な通路は前記挿入補助装置の外面に連結された棚状部によって形成される、請求項 1 に記載の挿入補助装置。

【請求項 9】

挿入補助装置であって、

(a) 遠位端を含むハンドルと、

(b) 舌圧子であって、

(i) 前記ハンドルの遠位端に隣接する近位端と、

(ii) 遠位端と

を備え、前記近位端から前記遠位端へと徐々に小さくなる断面形状を有する舌圧子と、

(c) 第 1 通路であって、

(i) 入口と、

(ii) 少なくとも 1 つの代替的な入口と、

(iii) 前記舌圧子の遠位端に隣接する出口と

を備える第 1 通路と、

(d) 前記舌圧子の遠位端に隣接するガイドであって、前記舌圧子の遠位端から延びる 1 対の突起によって形成された凹部を備えるガイドと

を備える挿入補助装置。

【請求項 10】

前記入口は前記ハンドルに隣接する、請求項 9 に記載の挿入補助装置。

【請求項 11】

前記少なくとも 1 つの代替的な入口は前記舌圧子の近位端に隣接する、請求項 9 に記載の挿入補助装置。

【請求項 12】

挿入補助装置であって、

(a) 遠位端を含むハンドルと、

(b) 舌圧子であって、

(i) 前記ハンドルの遠位端に隣接する近位端と、

(ii) 遠位端と

を備え、前記近位端から前記遠位端へと徐々に小さくなる断面形状を有する舌圧子と、

(c) 第 1 通路であって、

(i) 入口と、

(ii) 前記舌圧子の遠位端に隣接する出口と

を備える第 1 通路と、

(d) 前記舌圧子の遠位端に隣接するガイドであって、前記舌圧子の遠位端から延びる 1 対の突起によって形成された凹部を備えるガイドと

を備え、

前記舌圧子の近位端は前記ハンドルに旋回可能に連結される、挿入補助装置。

【請求項 13】

前記舌圧子は前記ハンドルに対して回転させることができる、請求項 12 に記載の挿入補助装置。